



みなみ

5月の生活目標：「きまりを守ろう」

NO. 4

四万十市立中村南小学校 (TEL:34-7400) 文責：益永



いよいよ、運動会の日がやってきます。今年は、久しぶりに人数制限のない運動会となるため、おじいちゃん、おばあちゃんを含め、家族全員で心待ちにしているご家庭も多いのではないのでしょうか。家族の期待に応えようと、子どもたちも気合いを入れて頑張っています。

水曜日に行った総練習では、本番さながらの白熱した戦いが繰り広げられました。例えば、3年ぶりに復活した綱引きでは、高学年の部で5分にも及ぶ力のこもった戦いが見られたり、紅白リレーの低学年では、アンカーが大接戦となり、手に汗握る戦いが見られました。

初めての5月開催の運動会で練習期間が短く、また、9月と5月では児童の発達も異なるため、例年通りとはいかないことが多い中、私たち教職員は、「運動会を通して子どもを伸ばす」という思いで指導してきました。本番では、成功を祈りつつ子どもたちに全てを任せ、最後は、いろんな困難を乗り越えてやり遂げた達成感や責任感の強さ、仲間と協力する態度、競技に向かう一生懸命さや最後まで諦めないという態度等を称賛して、自信をつけさせたいと考えています。5月開催だからこそ、児童の今後の活動のエネルギー源となるような運動会にしていきたいと思います。終わった後、子どもたちが「努力は無駄にならない」とか「自分にも、やればできる力はあるんだ」と思える運動会に・・・
頑張れ!南っ子!応援をよろしくお願いします。



【お礼】

昨年度末に、四国銀行の事業「学び応援債」の発行に際し、中山興業株式会社様から「CD付防滴形ハイパワーワイヤレスアンプ」を寄贈していただきました。おかげさまで、運動会の練習運営がスムーズにでき、大変助かりました。

中山興業株式会社様には、紙面を通じて改めてお礼を申し上げます。



【お知らせ】

近年よく耳にするようになったLGBT（性的少数者を表す総称）ですが、日本において8.9%（11人に1人）の割合でいると言われていています。本校の中にも生きにくさを感じている児童がいるかもしれません。そのため、男女混合名簿や男女共に「さん」付けて呼ぶことの推進と同様に、人権教育の一環として、本年度から、紅白リレーを男女別ではなく、男女混合で行うことにしました。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

～ 学校と家庭が共に歩む1年に・・・ ～

早いもので、入学・進級してから1ヶ月が経ちました。子どもたちや保護者の中から、今年の担任は「優しい」とか「厳しい」とか、様々な声が聞こえてきます。

私が学級担任だった時は、厳しいタイプの教員でした。特に4月・5月は「初めが肝心」と、学習規律や学校のきまりを守ることを徹底して取り組んだものです。各学級担任には、今の時期、「南っ子 きらりかがやく さしすせそ」を中心に学校・学級のルールが守れるよう、いかんことは「いかん」で、毅然とした態度で子どもたちの指導に当たるようお願いしています。もちろん、教職員は、発達段階や個々の特性に配慮し、ルールが守れた時にはすぐに評価し、素晴らしい行いは金曜日の「きらり」の放送で紹介する等、褒めることも併せて行っています。とはいえ、学校と家庭がベクトルを合わせ、共に協働して子どもたちの成長を支援していくことが何よりも大切ですので、何か気になる点がございましたら、いつでもご連絡ください。よろしくお願いいたします。

ところで、本年度は、学校教育目標を刷新しました。4月のPTA総会でお伝えしましたが、本校がこれまで受け継いできた校是「創造」校訓「考える子 仲良くする子 元気な子」を踏まえ、子どもたちがこれからの時代を生き抜くために必要な力は何かを考えて、「自ら学び、考え、行動・表現できる 心身ともにたくましい児童を 地域とともに育成する」としました。

コロナ禍によりICTが普及し、学校に来なくてもYouTube等で学べる時代になりました。でも、学校に来るからこそ、様々な人の意見や価値観に触れることができ、また、人の関わることで自分らしさを発見・発揮できるものと考えます。学校の存在意義が実感できる学校づくりを目指してまいります。

【目指す学校像】

- ◎安心・安全な学校
- ◎学びに没頭できる学校
- ◎互いに認め、高め合える学校
- ◎美しい学校
- ◎地域に愛される学校

【目指す子ども像】

- ◎よく遊び、よく学ぶ子ども
- ◎自ら考え、行動できる子ども
- ◎粘り強く取り組む子ども
- ◎決まりを守る子ども
- ◎自他を大切にできる子ども

【目指す教職員像】

- ◎信頼される教職員
- ◎明るく、前向きに取り組む教職員
- ◎学び続ける教職員
- ◎教育公務員としての自覚をもった教職員